公民館報
こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集兼発行印刷人　矢部藤三郎

縣立病院建設促進問題の現状

全町民最大の関心事であり、熱望の的である県立病院誘致の問題は、郡町村会、町当局、地元県議等の努力により次第にその実現の見透しが明るくなってきた。

即ち、去る三月県病院局より建設する旨の示達があり、同時に建設計画は出来ているが諸般の事情により三十一年度中の予算化が困難である趣きを示された。

これに対して地元としてはあく迄早期建設を目途とし三月の町会にて境外グランド　三千坪　旧校舎敷地　千五百坪　体育館教室等六百七十坪を県に移管を議決し、

尚病棟、治療棟等の新改築費として千五十二万円の負担案を承認し受入れ態勢の万全を期すとゝもに、従来の促進委員会を増員強化し委員長　白井議長　副委員長　栄森　委員　新井田(政)　栗原　保科　森田　丸山(清)　新井田(辰)　井上　渡辺(進)　田中　渡辺(関)　の十二氏を以て県立病院設置委員会を構成し今后の問題に対処するとゝもに運動を展開する事にした。

其の後去る五月二十一日郡町村長会を小須戸町公民館で開き、会議に先立ち病院敷地に予定されている旧校舎を全員で視察し、郡内に県立病院の無い事でもあり、全町村長が促進委員となり本年度着工を目指して猛運動を展開する事を申あわせた。ついで二十三日に早速、郡町村長会、当町町長、助役出県当日開催中の中東蒲原県議合同懇談会に陳情、東蒲原選出の佐伯副議長を始め全議員各位の一致推進方の快諾を得た。

引続き廿五日に改めて郡町村長会長渡辺亀田町長の名で県病院局宛地元の協力計画を含む要請書を呈出し早期実現方を懇請し今や県実施案の示達も或は近くあるのではないかと思考されるに至った。

顧みるに此の運動も二十八年以来町の至上方針として続けられ、その間昨年十一月新校舎落成式における北村知事の口約もあり、今日では予算化着工の早期実現という点にしぼられ、その達成もいま一と押しと云う段階にきたようである。

此の時あたり全町民は挙町一致この運動達成に応援する事はもとより、執行部、議員諸公にあってはその間の意見統一は勿論、郡町村会、県議諸氏と緊密に連絡し運動を強力に展開するとゝもに町民に知らせるべき点はあらゆる機会に周知させて欲しいものである。

県立小須戸病院設置について

五月二十五日付新潟日報掲載の「絵に書いた餅小須戸病院」の記事を読み暗い氣持になりました。それと言うのも、この問題に寄せた私たち町民の期待と余りに、その開きが大きかっただけに言いきれぬ衝動を受けました。

県立病院設置の目的は医療及び保健指導、いわば地方における公衆衛生の普及、及び向上に寄与して私たち県民の健康な生活を守ることにあるものと思います。

こうした重要施設が一刻も早く設置されるように二十八年以来郷土小須戸町を中心に郡内九町村で早期実現方を県当局に請願し県議会に於て決議され県病院局からも建設する旨の示達があって、さて予算に当って当局赤字でどうにもならない県財政のその中、苦しいやりくりと節約に依って何らかの目鼻がついていて予算審議されたのでありましょうが、予算の面で現在の情勢からしてその時期に至っていないとの示達であるようですが何が奥歯に物がハサマッテおるような感じられます

病院設置と言っても差当って県財政に直接影響することでありましょう県当局は赤字克服に四苦八苦の努力をされておられますけれども只予算がないと言って遅々としている悪循環は県民として誠に悲しいことであります。社会の施設は多種多様でどれ一つとして不必要な施設はないでしょが県医療施設整備は万難を排して一日も早く実現されてこそ私たち県民として文化的な平和な生活ができると思います。

この建設問題については先きに小学校落成式に来町した知事は「病院敷地として誠に理想的である、任期中に必らず実現する」と口約されたそうですあるが、町として又県としても重要施策であって郷土振興の面からも福利厚生の面からも文化の大業を完成され早く立派な他県と肩をならべて眞に県民が明るい文化的生活ができますよう満期迄と言わず一日も早く口約の実現に全力を注ぎ実行に移して貰らいたいと思います。

又当町の対策委員並び郡内九町村長が全委員となり強力な運動を展開することになっているそうであるが、全県民がこうした公益企業の必要性を痛切に思いを至し、更に總知總力を結集し、依ってこの情熱を建設の主軸とし、又潤滑油として邁進努力できるよう指針し実現して戴きたいと願うものであります。

なお　これが本当に絵に書いた餅にならないように重ねて切願致します

矢代田　壺屋德一

町分館の動き

公民館小須戸分館では小学校々舎移転後も旧校舎に事務所を置いたが実際問題として管理が困難であり諸会合にも支障があるので事務所を本館におく事にした。

尚保科分館長一身上の御都合により辞任され、後任に川村婦人会長が就任され、副分館長に橋本教頭先生、吉田林一郎氏亦会計監査に佐藤八十八須藤幸吉両氏が依嘱された。

本町選手の活躍

県陸協外各種競技団体の共催で去る四月二十九日挙行された高田新潟間の駅伝競走には中蒲原代表として左記四選手が参加、輝やかしい成果をあげた、就中アンカー平間福治君の力走振りは歓衆の注目をあびた。

参加選手
平間福治（天ヶ沢）
平間富夫（〃）
平間登（〃）
木伏尉武（金山）

輝く表彰

県町村会では去る二十八日午后一時より新潟イタリヤ軒で永年勤続者を自治功労者として表彰、当町柏大治氏が輝く表彰を受けられた。

寄附

此のほど本町出身、東京都在住の佐々木新治氏は敬老会のたしにと金五万円を寄附された。（役場）

図書室だより

会費値上げのことについて

去年の夏頃より会員がどん〴〵ふえているのに、その劃に本が買いずさっぱり新刊がないという声をちょい〳〵聞えているのです。月十円では安すぎる、もっと値上げしてもよいからどん〴〵本を買ってくれという人もあり、又公民館の図書だから当然ただにするべきだ、という人もおりました。

そこで私たちも、今年はなんとかして予算をあげてもらいたいとつとめましたが、如何にせん収入のきまってる町財政ではどうにもならず、わずかに去年よりは一万円増の六万円ときまりました

読書クラブも昨年の十二月末で解散したから会費の収入はなくなっています。

いまゝでの経験からみて、せめて月七〜八千円はほしいところなのです

そこで前からちょい〳〵話のあった値上げの問題が又出てまいりました。しんちょうにくり返し話合いました。出来れば無料とするのが一番よいのですが、しかしこのまゝで昨年より買いないことになりますと利用者がだん〳〵へっていくということになります。

そこで此の四月公民館の運営審議会で、月会費二十円の値上げの話を出しましたところ色々話もありましたが今のところ値上げするのもやむを得ないだろうという話になったのです。

そこでみなさんにお知らせするのですが、このことについて御意見はありませんか、もしある場合図書室にポストもあり玄関口に投書箱もありますからお知らせ下さい。

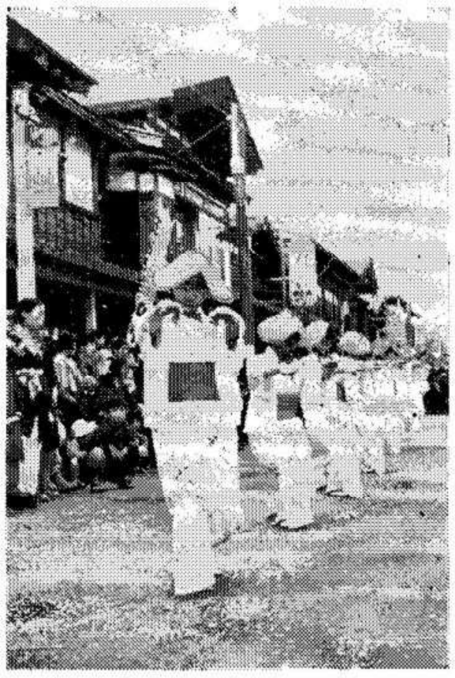
特に反対がなければ値上げさせていただきます

私たちの図書委員会で次ぎのように話合をしました。

1、値上期日は六月一日より
2、小、中学生は月十円
3、会費はその月の十五日までに入会したときは二十円
十六日以後は十円

右のような意見を会員の方々におきゝしましたところ反対の意見もなかったので六月から会費の値上げをしました。

いつでも自由に入会出来ます、みなさんの図書です大勢におすゝめ下さい。



‼花祭り商工祭‼　小須戸小唄

住みよい郷土をつくりましょう

蚊やはえのいない生活環境は健康で、すが〴〵しいばかりではなく人の心にまで大きな変化をもたらします。当町では町部を小学校PTA地区により七支部に分け殺虫剤（リンデン油剤）を一戸当り三合七勺を無償配布し、不足分については支部、部落で購入し蚊とはえのいない明るい住みよい町をつくりましょう。

各支部長
第一支部　田巻六一郎
第二支部　小島正春
第三支部　荒木春一
第四支部　千葉キヨ
第五支部　藤田彦三郎
第六支部　未定
第七支部　未定

ホリドール撒布した田畑は危険

稲の二化螟虫を初め、その他の農作物害虫を駆除するために使用されるパラチオン剤ホリドールは人畜にも有害でありますので撒布した田畑には五日〜七日間毒性が残効しますので使用標示されておりますから、防備の服装をした以外は立入りしないようにしましょう。

特に子供さんが田畑に遊ぶことは危険ですから注意するようにしましょう。

スライド試写会

題名　残雪の五頭
とき　六月二十日
夜七時三十分
ところ　公民館二階会議室
主催　小須戸町山岳会

農繁期防犯についてお願い

いよ〳〵春の農繁期となり皆様方におかれては毎日仕事に精を出されておられることを感謝致します。

さて例年この時期になりますと、各地において「空巣狙い」や「忍込み」の盗難事件又は気候も暖かくなりますので、婦女子に対する暴行事件などが多く発生するのであります。

さいわい、私たちの町におきましては最近では大した犯罪もなく喜ばしいことであります、これも各位の防犯に対する認識の賜と存じます。

本年度も春の農繁期にあたり、特につぎの点について工夫や注意をされ犯罪のない明るい住みよい町の建設につとめましょう。

一、完全な戸締の励行
特に勝手場、便所などの出入口に注意
二、屋外放置物件の片ずけ
一時の用足しでも自転車には鍵をかけること
三、現金や貴重品の保管は完全実施
他人に保管場所のわからないよう注意
四、家畜など盗まれないように注意すること
五、土蔵、倉庫の戸締の完全
六、就寝時、屋内の消灯の励行
七、寝る前の家の内外の見廻りを実行
八、マッチ類は子供の知らない場所に保管すること
九、夜間（特に深夜時）婦女子の一人歩きを避けること
一〇、婦女子のみの歩行中知らない人よりの話がかりや、特に甘言には乗らないように留意すること

犯罪にかゝらないようお互に注意すると共に不幸にして犯罪にかゝった際はできるだけ速かに駐在所又は派出所にお届け下さい。

（防犯協会）

海外引揚げの皆様‼

引揚者在外事実調査

六月二十日まで洩れなく申告致しましょう

今般引揚者在外事実調査規則の公布に基いて右の調査行うことになりました。此の調査は総理府に設置されている在外財産問題審議会の今後の審査に必要な資料を得る為に行われるものであり、且つ多数の対象者について短期間にしかも正確に行わねばならないものですから引揚者については脱漏のないように御申出願います。

1、「引揚者」とは昭和二十年八月九日現在　本邦（沖縄地域を含む）以外の地域（外地）に住所を有しかつ同年九月二日以降本邦に引揚げた者であって引揚者調査が行われる日において本邦に住所又は居所を有する日本国民をいう。たゞし外地において召集された者以外の軍人又は軍属であった者を除きます。

2、調査事項
引揚者調査事項は次に掲げる事項について行います。
一、引揚者の氏名、生年月日、本籍地及び現住所
二、外地における住所居住期間職業及び世帯構成
三、引揚出港地内地上陸地及び上陸年月日
四、その他引揚者について必要な事項

3、基本調査期間
取纏めの都合上六月二十日迄役場厚生課に御申出下さい。

4、引揚者在外事実調査票は厚生課に用意して御在居ます。

無痛分娩

姙娠出産と云うことは婦人の一生のうちの最も重大な事柄です。妻となって立派な赤ちゃんを欲しいと思わない人はないと思います。しかしそれにはいくぶんのおそれや不安を伴ないます。お産をらくにして立派な赤ちゃんを生むためにはどうしたらよいでしょうか。そんなにむづかしく考えることはないと思います

姙娠、出産についての正しい科学的な知識をもってその日その日の折を攝生に心がけそれに加えて家族の方々の温かな思いやり親切な助産婦さんの細々の注意があれば母体はいつも健康で胎児の発育もすく〳〵と順調に姙娠から出産への道をお歩きになれる事と思います。

今までのお産では騒がぬことが婦人の美徳とされ激しい陣痛の時でも額から脂汗をタラ〳〵流しながら歯をくいしばってがまんして来ました。

そして又こんなに苦しんで生むのだから親子の愛情がことさら濃いのだとも云われます。

戦後婦人の地位も向上し医学医術の発展とゝもに最近無痛分娩が一般の話題にのぼる様になって来ました。

かって生めよ殖やせよの時代の様に一生涯に九人も十人もの子供を生んだ時代もありました。これからは受胎調節または産児計画が徹底してお産の回数も二回とか三回とかに減って来ましょう、そうなると当人のみならず家族の方々にも安心してお産も出来立派な赤ちゃんが生れる様にと望んでいらっしゃる事と思います。出来ることならお産の痛みをなんとか軽くしてもらいたいのがあらゆる産婦の願いだと思います。無痛分娩は安全であって母子共に害のないこと、簡単に出来てどこでもまた誰にでも出来ることです婦人科のお医者さん助産婦さんをお訪ねになり姙娠中にお産の話や分娩時の心構えと身体の動作などを練習しておく事は大変よいことゝ思います。

（厚生課）

投稿を望む

建設的な御意見、各地域団体の動き等どし〴〵寄稿下さい。

〆切　毎月二十五日

必ず町名、氏名記入のこと紙上匿名は差しつかいありません。

（広報部）

レコードコンサート

とき　六月十六日(土)午後七時三十分
ところ　公民館　階上会議室
演奏レコード
チヤイコフスキー「悲　槍」
ドビツシイ「亜麻色の髪の乙女」他

赤ちゃん大会

離乳期に十分な栄養を

子供の日を中心として展げられる児童福祉週間の記念行事の一環として全国的に赤ちゃんコンクールが実施され、本町に於てもこの線に添い四月十八日から三日間赤ちゃん大会を開催、参加乳児も大変多く県赤ちゃん大会並びに郡大会にも参加する優良赤ちゃんも選ばれました。

近頃のお母さん方は育児に対する関心が高まって来まして立派な赤ちゃんの多くなって来ました事は大変喜こばしい事と思います立派な赤ちゃんと云う事は身長や体重が平均以上に優れていることではなく骨組が立派で筋肉の発育もよく皮膚が丈夫で風邪を引いても弱らない病気にも外観にも低抗力のある赤ちゃんを云います。この様な健康度の高い赤ちゃんの必要条件を上げると先づ両親が精神的にも肉体的にも健康体でなければならないのです。丈夫な両親には身体精神共にバランスのとれた赤ちゃんが生れると云われています。赤ちゃんの育て方の中で一番大切なのは離乳期です離乳期に栄養が十分であったかどうかゞ問題で此の間で差が出来てくるのです。肥っていると云ってもブク／＼肥りで離乳期になっていろ／＼食べる様になるとやせて来る赤ちゃんがまだ／＼少くありません。お母さんの中にはせっかく出るお乳を出なくさせてしまう方も居ります。赤ちゃんが生れゝばお乳は出るものですから少しお乳の出が細いとすぐに出ない、足りないと云って混合栄養にし自然母乳の分泌は少くなり、ついに人口栄養になってしまうことは珍らしくないのです。母乳の補給に牛乳などを与える場合でも一日で一番母乳の出方が少い時に飲ませる様にして朝夕は時間をかけても母乳だけにして昼の忙しい時だけ混合栄養にした方がいゝと思います。

三十一年度の保険施設事業計画として毎月妊婦並に乳児の無料健康診断及び相談を実施することになりました。乳児の保健向上の為どうぞ全員診断を受けられる様御願い致します。

保健婦

次の赤ちゃんが昭和三十一年度赤ちゃんコンクール優良児として去る十八日表彰された。

男児　九名

高野　聰（横　川）
長谷川　均（小須戸）
五十嵐　修（ウデコキ）
川瀬　勉（竜　玄）
坂上　弘（鎌　倉）
加藤　登（矢代田）
渡辺英夫（小須戸）
須藤隆一（小須戸）
田中　肇（小須戸）

女児　十一名

高野文子（小須戸）
山田京子（小須戸）
井上八重子（小　向）
高山春江（新　保）
岡田栄子（横　川）
高野信子（天ヶ沢）
佐藤哲子（天ヶ沢）
高橋　桂（小須戸）
中野晴美（小　向）
八木啓子（新　保）
田沢美佐子（矢代田）

時間励行

‼待つ身になって
待たせるな‼

良寛遺跡めぐり

募集

主催　良寛思慕会支部

良寛さまを慕う人達の会が二十九年春結成され会では良寛さまを語り合い少しでも良寛さまのような心情になりたいと座談会等が開かれて来たが、今回思慕会支部では次のコースで良寛さまの遺蹟めぐりを計画しておりますので、多数の皆様の参加を望んでおります。

一、日時　七月一日　午前六時公民館前
一、集合
出発　午前六時半、貸切バスで出発
一、帰宅　午后七時頃
一、経費　四百円程度
中食は各自持参のこと
一、申込　公民館
一、〆切り　六月二十五日迄

良寛遺跡めぐりコース

●与板町

良寛の父以南の生地与板町である。徳昌寺と云う禅寺で、良寛の葬式はこの寺に行われた。境内に詩碑も建っている。

●塩の入峠

良寛が晩年島崎から、その頃弟の由之が与板町に居ったので、そこへ行く為めに通った塩の入峠である。

●島崎の木村家

良寛遷化の家として有名な島崎の木村家である良寛の住んだ茶室の跡には相馬御風の筆で「良寛御遷化の跡」という書碑が建っている。木村家には良寛の遺墨が蔵されている。

●良寛の墓

木村家の菩提寺である隆泉寺と云う眞宗の御寺である。この寺に良寛と弟由之の墓が仲よく並んで建っている。

●良寛の生地　出雲崎

松の木に囲まれた良寛堂がある。この堂は生家の橘屋の跡へ建てられたものである。良寛が剃髪した光照寺と云う禅寺がある。なお出雲崎には良寛記念館が出来ている。

●寺泊町の密蔵院

密蔵院に良寛四十四、五才の頃三年ほど住んだ所である。

●国上村

国上山中腹に五合庵が建っている。良寛は六十才の頃、五合庵より乙子神社の堂守りとなって六十九才までこゝで住んでいた。

●彌彦神社参拝

●岩室の田中の一本松

良寛は自分の孤独さが身にしみて、田の中に一本立てる松に同情し

岩室の　田中の松は
まちぬらし
われまちぬらし
田中の松は

と歌っている、今なお田の中に立っている

中学PTA役員決る

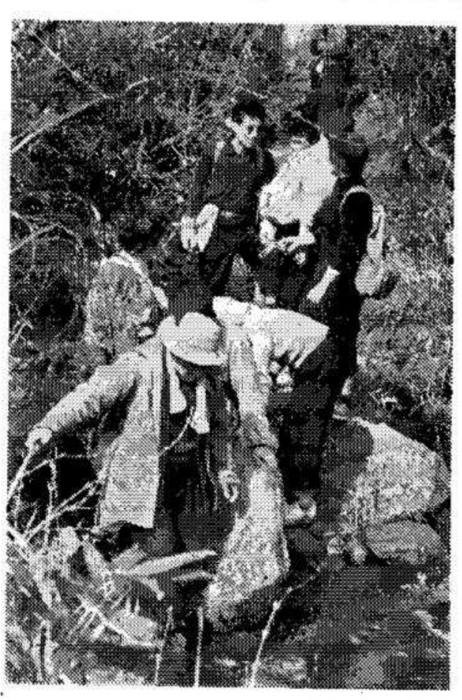
五月十六日中学校第九回創立記念式終了后本年度初のPTA総会が会員多数の出席のもとで開催された。

昭和三十年度庶務、会計などの諸報告があり、役員選考異議なく決定、坂井校長の教育方針の説明とPとTとの懇談意見交換があり、又創設十周年記念事業促進について終始活潑な討議が行われた。

役員
会長　田中重三
副会長　森田吾一
白井門蔵
丸山愛一郎
保科フサ
田巻積次郎
佐藤　勇
会計監査　小柳信次郎
梅津勝治
野崎平松

山岳会たより

来る六月二十日午後七時三十分より公民館階上会議室でスライド試写会を開催致します。試写会スライドは去る四月十五日五十余名で五頭登山を実施致しました際私達で写して参りました写真をそれ／＼選定致しまして、スライドに作成致しましたもので、五頭登山参加の皆様は勿論山岳写眞愛好家の多数の御参加を御待ち申ます。なお、スライド試写会終了致しましてから、座談会を催しますので茶菓代費一人二十円をお願い致します。



写眞は五頭登山の一コマ

金のなる木はないものか

一町民

「生産的でたくましい人となる」これは昨年町教育委員会で定めた小須戸町教育の目標一つであるそうだが実にうまいことをうたったものだと感心している。だがしかしたゞうまいことを言っただけでは何も効果はあがるものではないのでこれを推進するための具体的方法が実践されなければならない。この点に関して教育委員会には何等かの方策があるのだろうかかって私のところへ就職のことを頼みに来た学生がいた。面接していろいろ話している中に、はては「あなたに見放されゝば私は家に入って百姓をしなければならぬ」とそれがいかにも不がいないことであるかのように泣きつらまでするのであった。これが大学教育まで受けた青年だろうか。百姓を軽蔑して先輩知人の間を要領よく立ち回ってどこかうまい会社にでももぐりこんで白い手のサラリーマンになる。しかもそんな就職が出来なければ人生は終り、といった風に考えこんで自殺でもしかねないような精神のひ弱さ。青年らしいたくましさといったものはミジンも見られない。こんな青年がいくらおってもこの町は発展出来ないことだろう。

近年町村合併の波に乗って附近の町村がみな大町村になったのでわが小須戸町はいかにも弱小町村のような格好になったといって肩身のせまい思いをしている者もあるようだが私は外見なんかどうでもよいのであって形は小なりといゝども実力さえあればよいと考えているものである。ところがわが町の実態はと言うと県立病院の問題、火葬場問題、矢代田小学校改築都市計画等皆やりたいことばかりであるがさて財源がないばかりに手がつけられないとのことである。ある町会議員が言っておったが本年度町予算約三四三〇万円の中その約四分の一が借金返済のための元利金にあてられているとのことだ。これは本年度だけのことでなく今後十年間もこのような状態がつゞくのだという話である。この借金のおかげで中学校も統合小学校も町営住宅も火事で焼けた矢代田小学校も建ったのであるから有難いようなものゝ財源がないくせにこのような事業をやったから出来た借金なのである。この借金なしの金約八〇〇万円は実にもったいないような気がしてならない。この八〇〇万円でたちどころに火葬場も立てられるんだと思うと、財源とはいったい何であろう。それは町の実力によって生み出されるのであって前記のような青年のひ弱さでなく男も女もたくましく生産にはげみその努力の結晶が町の実力というものとなって現われるのである。

町民一人／＼が勤労をよろこび豊かな生活を楽しみ税金もどし／＼納められるような日はいつの日だろうか、そのような日になれば我が郷土が見ちがえる様な立派な町になるのだ。

それとともにこの町の伝統を誇る機業と園芸を飛躍的に発展せしめ他面また新たな生産を興していわゆる町の実力をつける名案はないものだろうか、お互に元気をだして大いに語り合いたいものである。そうしたらきっと金のなる木も見つかるのではないかしら。

青嵐句会

五月八日　於山葵氏宅

此処へまた新家建てたり麦の秋　紫川
青嵐めぐる小館村総会　春浪
エビガニが道を横切る青嵐　狼影子
老鶯やバスより下りし登山口　旺資
老鶯や陽に背きたる山斜面　虚秋
老鶯もしきり聞ゆる種畜場　渓灯
青嵐馬つながれてある雑地　香月
白樺がありて明るく青嵐　山蓼
湯治客日毎に減りぬ麦の秋　水月
麦の秋子はリヤカーに眠りこけ　杏月
杜あれば必ず家あり青嵐　流水

短歌

小須戸　丸山一夫

飽くまでも自らを典型とせし其れが
おそろしき音立て崩るゝを感ず
己以外に評価さるる覚えなし
その誤りの余りに多き故

購入図書

六月

現代
◇恋路　中村眞一郎
◇孤独の人　藤島泰輔
◇娘と私（下）　獅子文六
◇感傷夫人　伊藤整
◇流れる　幸田文
◇智恵の輪　佐多稲子
◇太陽の季節　石原慎太郎
◇雑居家族　壺井栄
時代
◇花恋い獅子　陳出達朗
◇俺は藤吉郎　川口松太郎
ユーモア
◇花嫁三国一　佐々木邦
◇ウッカリ息子とチャッカリ娘　北町一郎
探偵
◇マギル郷の最後　F W クロフツ
◇光とその影　木々高太郎
◇樽　F W クロフツ
戯曲
◇日本シナリオ文学全集　木下惠介
記録
◇検事物語　櫻田忠美
◇日本文学アルバム（小林多喜二）　亀井勝一郎
翻訳
◇ダヴ先生こんにちは　パットン
随筆
◇帝王と墓と民衆　三笠宮崇仁
◇アジアの四等船室　金素雲
◇味の散歩　秋山徳蔵
◇第七粋人酔筆　宮尾しげを外
家庭
◇続推理パズル　藤村幸三郎
◇季節とからだ　杉靖三郎
記録
◇宗教都市天理　毎日新聞社
全集
◇新平家物語（21）　吉川英治
芸術
◇カメラ年鑑　朝日新聞社
雑誌
◇文芸春秋漫画読本
◇婦人朝日六月号
◇文芸春秋　六月号
◇キネマ旬報　五月下旬
◇相撲　六月号
◇キネマ旬報　六月上旬
◇野球　六月号
◇オール読物　七月号

製本図書のお知らせ

長いこと御不自由を、おかけしてすみませんでした。次ぎの図書が製本されました。どうぞ御利用下さい。

現代
◇女の顔　石坂洋次郎
◇何処へ、"麦死なず"
◇美しい暦、暁の合唱
◇山のかなたに
◇眞実一路　山本有三
◇天皇組合　火野葦平
◇次郎物語第一部四部　下村湖人
◇怒れ三平　今日出海
◇南風　富田常雄
時代
◇栄花物語　山本周五郎
◇戦国無頼　井上靖
◇朱印船系図　角田喜久雄
ユーモア
◇ケンカ三代記、アパートの哲学者　佐々木邦
◇現代ユーモア文学全集　北町一郎
教養
◇私の哲学　思想会研究会編
全集
◇沙羅乙女、胡椒息子　獅子文六

"後一頑張り"

31年度赤十字事業資金募金決果

目標額　七一、一一〇円
実積額五月三十一日現在　六〇、四九五円

平素皆様方の御支援に依り募金成績も年々優秀を極めておりますこと偏に町民各人の御協力の賜と深く感謝申上げます。末整理の（町内、特別社員）も目標額達成迄御協力下さる様お願い申上げます。

実積額内訳
一、興行募金六、二〇〇円
一、特別社員二、四〇〇円
一、各町内実積額
（　）内実積額単位円

新町（一、六五〇）　泉町（二、一〇〇）　上稲荷（八五〇）　栄町（一一二〇）　上中野（九〇）　上田町（二一〇）　下中野（二〇〇）　土堤、住吉町（一、一〇〇）　一番町（二、七〇〇）　神明町（四二〇）　横町（二、八一〇）　東町（二、二〇〇）　出雲町（一、一六〇）　二番町（二、六〇〇）　三番町（一、七八〇）　東蔵町（一、一三〇）　四番町（二、四〇〇）　下稲荷（四〇〇）　五番町（一、一〇〇）　西幸町（一六〇）　桜木町（四三五）　鵜出古木1（二、〇〇〇）　2（一、七〇〇）　3（五〇〇）　横川（三、六〇〇）　小向（一、九二〇）　水田（四、二五〇）　鎌倉（四、〇〇〇）　天ヶ沢（一、二五〇）　矢代田1（一、四〇〇）　4（四五〇）　6（一、四〇〇）　11（三九〇）　12（六三〇）　新保1（三三〇）　2（三七〇）　3（五七〇）　4（四二〇）　5（四八〇）　6（六二〇）

末整理町内
渡場町、諏訪町、花見町、梅田町、朝日町、山吹町、矢代田2、3、5、7、8、9、10

常玄
日赤小須戸町分区長

【質問】

幻灯会について

公民館で今まで部落町内で催されておった巡回幻灯会は、どのように現在実施されておりましょうか、私たちの教養を高め、又レクリエーションとして利用したいものですが、どのようにしたら利用出来ましょうか。

（一町民）

【お答】

御質問の巡回幻灯会については、現在次のように実施しております。分館、部落町内や青年団、婦人会等で幻灯会の開催希望の申出によりまして実施致しておりますので是非御利用下さい。楽しみながら、色々な事が判り勉強にもなりますから、会場、日時を公民館へお知らせ下されば出向きますので遠慮なく申込んで下さい。